

# 千代川沿川地区における水害意識に関するアンケート

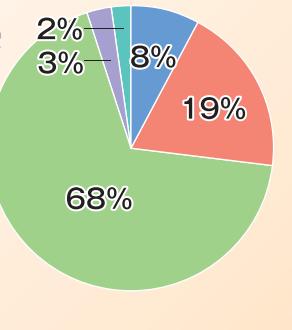
千代川流域にお住まいの方々の水害意識を把握するため、今年の8月から約1ヶ月間にわたりアンケート調査を実施しました。数多くの回答をいただき、ご協力いただきました皆様ありがとうございました。この調査結果を基に、現状と課題を整理し、今後の防災対策に役立てていきます。

## 調査結果報告

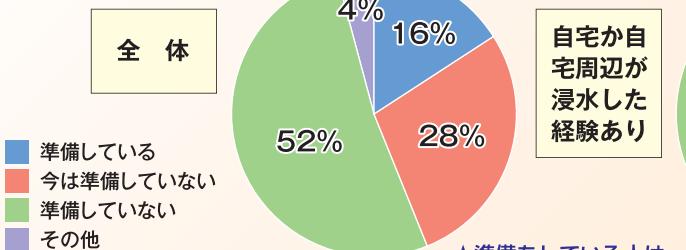


### 水害に関する知識や備えについて

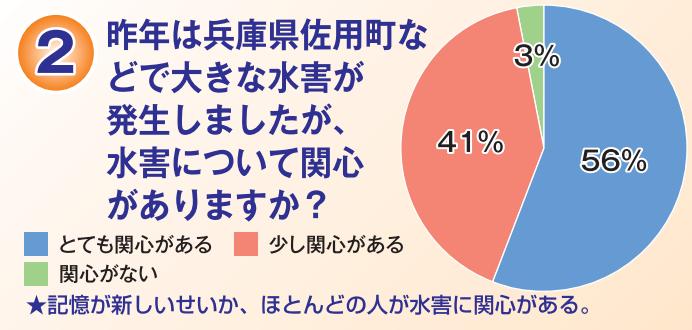
#### 1 自宅や自宅周辺が浸水したことはありますか？



#### 3 災害に備えて、非常用持ち出し品(非常用保存食、水、ラジオなど)を準備していますか？

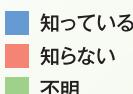


#### 2 昨年は兵庫県佐用町などで大きな水害が発生しましたが、水害について関心がありますか？



### 地域の防災情報について

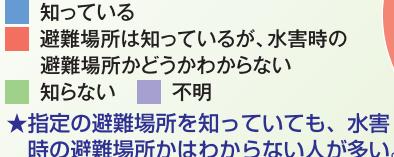
#### 1 国土交通省や鳥取県がインターネットや携帯サイトで、雨量や水位などの防災情報を提供していることを知っていますか？



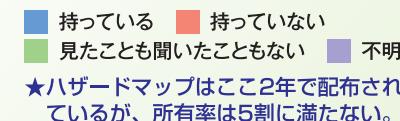
#### 防災情報を利用したことはありますか？ (知っていると答えられた方の回答)



#### 2 市や町が指定した水害時の避難場所を知っていますか？



#### 3 住んでいる市や町の洪水ハザードマップ(洪水避難地図)を持っていますか？

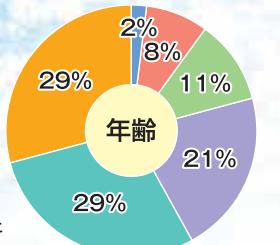


◆アンケート調査方法……自治会を通して配布及び回収を依頼

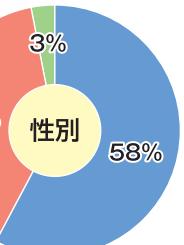
◆配布エリア……明徳地区、大正地区、富桑地区、その他(ポスティングによる無作為配布) ◆回答総数……3,134通

#### 回答者属性

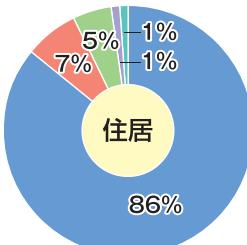
【年齢】  
20代 30代  
40代 50代  
60代 70代以上



【性別】  
男性 女性  
その他 不明



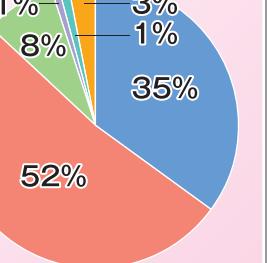
【住居(居住階層)】  
一戸建て  
集合住宅の2階以下  
集合住宅の3階以上  
その他  
不明



### 避難行動について

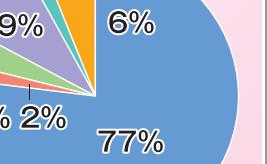
#### 1 風雨が強まり川が増水しています。外では広報車が避難を呼び掛けています。あなたはどうしますか？

直ちに避難する  
直ちに避難しないが、避難の準備は始める  
避難の準備はしないが、情報を集める  
何もしない  
その他 不明



#### 3 近くの川があふれそうになり、避難しなくてはなりません。あなたはどこに避難しますか？

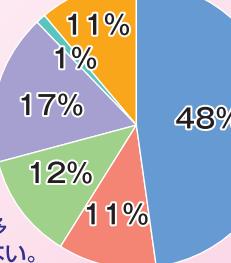
市や町が指定した避難場所(公民館・学校など)  
最寄りの役場や病院など  
高台にある近くの知人や親戚の家  
自宅の上階、または自宅がマンションの高層階であるため外へは避難しない  
その他 不明



★「市や町が指定した避難場所」と答えた人が全体の77%であった。

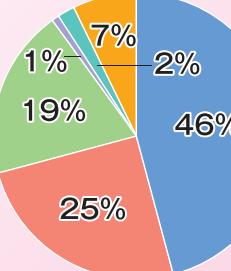
#### 2 避難を決心する場合の決め手は何ですか？

広報車や防災行政無線からの避難の呼びかけ  
テレビやラジオからの避難の呼びかけ  
近所の人が避難を始めたとき  
消防団や近所の人からの避難の誘い  
その他 不明



#### 4 あなたが避難している途中に、近所のお年寄りが気になりました。どうしますか？

一緒に避難する  
避難するよう声だけはかける  
消防団などに連絡する  
特に何もしない  
その他 不明



#### ご意見(自由記述)

【情報】  
●危険な場所などを予め住民に知らせておいて欲しい。  
●地域では「うわさ」が先行する場合があるので、正確な情報を正しく住民に伝える事の徹底をお願いしたい。

【避難】  
●避難場所は自宅から距離があって避難できるかどうかが心配。  
●無理な移動より、自宅の二階や近所の高層アパート利用など実情に則した避難方法を教えて欲しい。  
●近くの避難所は地盤が低く、水害時には使えないと思う。  
●避難システム(自主避難・避難勧告など)を知らないので教えて欲しい。

#### 普段の備え

●救助、避難に関する実地訓練を実施して欲しい。  
●地域の問題点を明確にし、その解決のために住民が一体となって取り組むような体制づくりが必要。

●ハザードマップの配布は防災意識を高めるためにも有効。配布後のフォローも必要。

●このアンケートを記入している間に、自分が防災の知識を何も知らないことがわかった。

#### 要援護者

●老人、子供等への対応をどうすべきか、より具体的に検討すべき。

●広報車での呼びかけはもちろんだが、1人暮らしの老人宅には責任をもって伝える人が必要だと思う。

### 調査結果【まとめと今後の課題】

●水害に対して関心があると答えた方が97%と千代川流域住民の水害に対する関心は高いですが、非常用持出品を準備している方は16%、「ハザードマップを持っている人」は47%と、普段からの備えについては十分とは言えない点が見られました。

●避難に関しては、「広報車が避難を呼びかけた」場合、直ちに避難する人が35%、避難の準備を始める人が52%という結果であり、「避難の決め手」としては、「広報車や防災行政無線からの呼びかけ」が48%と広報車や防災行政無線からの情報が重要という結果でした。しかし、避難場所までの移動距離や移動中の安全性について不安を抱えているという意見もいました。

●その他、援護が必要な方の支援について関心が高く、地域での協力体制の強化を望む声が多かったこと、また、千代川が氾濫した場合の実際の水の流れや危険箇所など、詳細な情報提供を望む声も多数聞かれました。